

諸岡亮子

ハルモニウム
パイプオルガン

Morooka
Ryoko

クリスティアン・
パイクス

ピアノ

Cristian
Peix

Fremde Welt

～見知らぬ世界へ～

ハルモニウム & ピアノ、パイプオルガンによる

スペシャル・コンサート

ハルモニウムとピアノが織りなす独特の響きが教会空間に美しく溶け合う
かつてない音楽体験をあなたに

フェリックス・メンデルスゾーン Felix Mendelssohn

セーザール・フランク César Franck

アレクサンドル・ギルマン Alexandre Guilmant

クリスティアン・パイクス Cristian Peix：フクシマを思う哀歌（霊南坂教会委嘱作品）他



会場：日本キリスト教団 霊南坂教会

2026

3 | 13 (金)

チケット料金：（全席自由/税込）4,000円

◆チケットのご購入はこちら [チケットぴあ] <https://w.pia.jp/t/fremdewelt/>

※教会でのチケットの取り扱いはありません。
コンサートに関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。

開場 18:30 開演 19:00



[主催] 株式会社ディスカバリー・ネクスト 03-6427-1408 担当：鈴木 090-5569-2015 pierluige.ts@gmail.com



諸岡亮子

ハルモニウム、パイプオルガン

福岡出身。立命館大学文学部史学科東洋史専攻、混声合唱団メディックスに所属。卒業後渡独。

ハノーファー音楽・演劇大学オルガン科ならびに教会音楽科に学びディプロマ取得。H.フォーゲル、T.コープマン、D.ロート、L.-F.タリアヴィーニ、J.ヴェルダン各氏のもとで研鑽した。

ハノーファーのパオロ教会およびナザレ教会の専属オルガニスト。またハノーファー音楽・演劇大学の講師を務めるかたわら、ヨーロッパ各地および日本（高岡市民音楽祭ではブーランク『オルガン協奏曲』を演奏）で演奏活動をしている。

1995年からバロック・プラス・オブ・ロンドンのオルガニストとなり外国公演などでも活躍。

またオルガン以外にもハルモニウムの奏者として数多くの演奏会、放送録音、CD録音を行なっている。特にイギリスのリードオルガン（ハルモニウム）博物館でのコンサートは館内の7つの異なる楽器を使用し好評を博した。

リノス・アンサンブル、ハレ管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、ポーランド室内合唱団、RIAS室内合唱団（ロッシェニ『小荘厳ミサ』CD録音）、北ドイツ・フィグル合唱団、ファイン・アーツ弦楽四重奏団などと共演。

ベルリン＝ブランデンブルク放送によりラジオ・ポートレート“Kleine Schwester der Orgel Ryoko Morooka und Harmonium（オルガンの小さな妹——諸岡亮子とハルモニウム）”が制作され、ハルモニウム音楽の普及に貢献したと評価された。

ドイツでのデュオ・コンサートが大好評を博し、ついに日本での共演が実現！
「音楽的に共感し合う」という二人が、あなたを「見知らぬ世界へ」と誘います。
これまでにない音楽の魔法を、ぜひご体感ください。



クリスティアン・パイクス

ピアノ

ブラジルに生まれ、7歳のときにドイツへ移住。早くからさまざまな楽器を学ぶ機会に恵まれ、ハノーファー音楽・演劇大学でピアノを学ぶ。さらに

デトモルトやベルリンの音楽大学でリート伴奏の分野で研鑽を積んだ。マスタークラスでは、ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ、バーバラ・ボニーをはじめ名歌手の教えを受けている。

その後、ブレーメン音楽大学、ベルリン音楽大学のリートクラス講師、ピアニスト（トーマス・クヴァストホフの声乐クラス・ピアニスト）として活動していたが、数年前に大学での教職を終え、自身の芸術活動に専念。現在はソリストや合唱団、室内楽のピアニスト、作曲家としてヨーロッパ、北米、ブラジルで活動している。

おもな共演者は、ローマン・トレーケル、ダニエル・オチョア、モンテヴェルディ合唱団、ヨーロッパ合唱アカデミー、ヴァーツラフ・ノイマン合唱団など。CDもドイツのNDR、WDR、ドイツ放送局、およびオーストリア国営放送局とのプロジェクトによる、R.シュトラウス、シューベルト、フォーレ（宗教曲集）、サティ、ブーランクなど多数の作品に参加している。また150以上のデモンストレーション録音をYouTubeにアップし、話題になっている。

日本キリスト教団 霊南坂教会
東京都港区赤坂1丁目14-3

- ◆地下鉄南北線 六本木1丁目駅下車 徒歩5分
- ◆地下鉄銀座線 溜池山王駅下車 徒歩6分
- ◆地下鉄日比谷線 神谷町駅下車 徒歩8分

